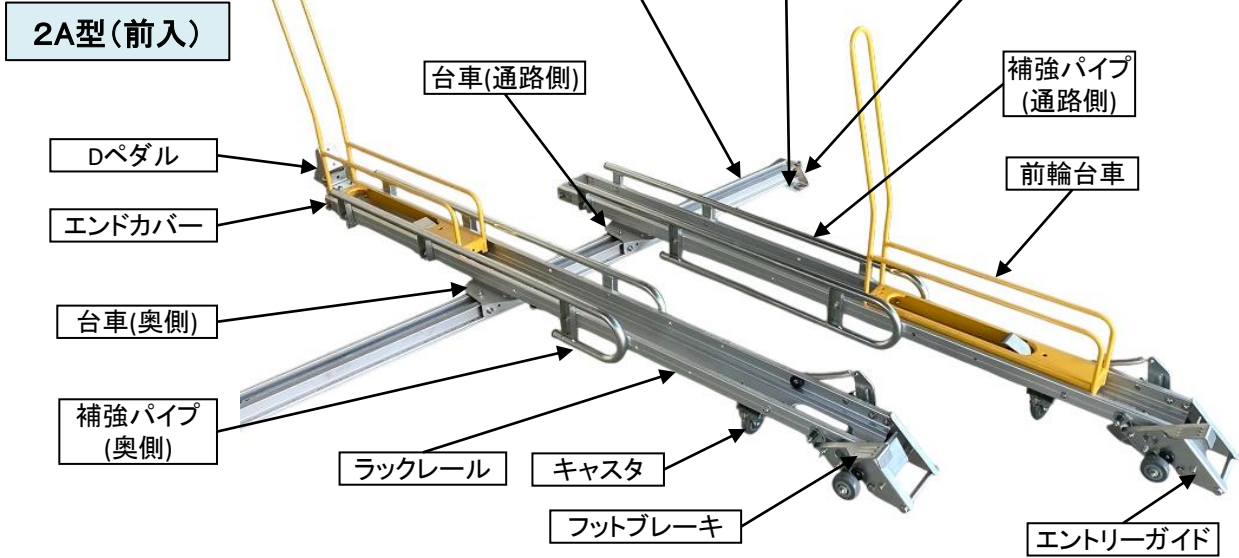




SRC-2A(前入)

- レイアウト図を参考に右振り、左振りの台数確認をお願いします
- 0度、10度、30度、45度の確認をお願いします

各部の名称

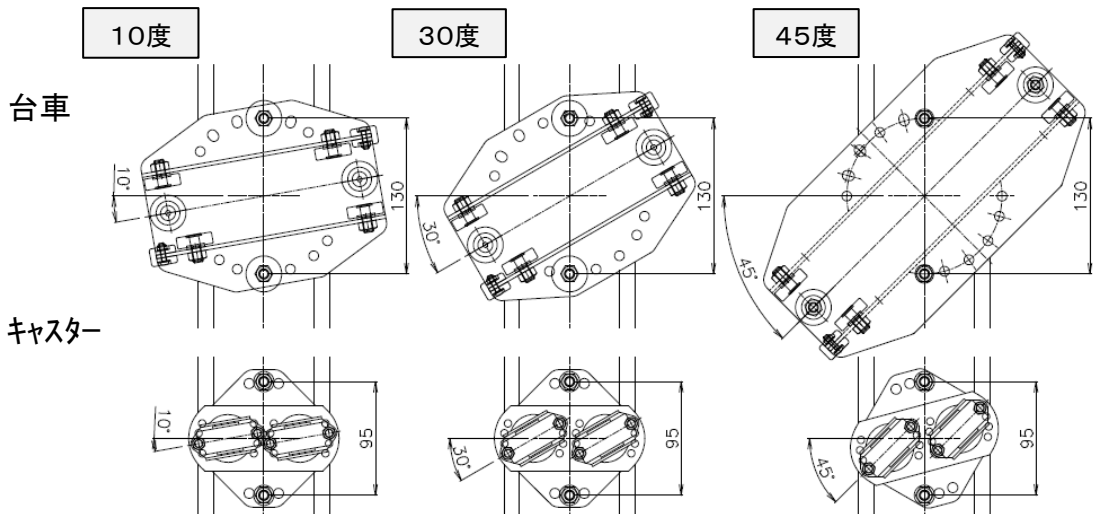


※床条件は土間コンクリート(一般供用級 $21\text{N}/\text{mm}^2$ 以上、深さ 100mm 以上)、間口方向の勾配 $5/1,000$ 以内、奥行方向の勾配 $30/1,000$ 以内をお守りください。

使用工具	六角スパナ13mm	六角レンチ5mm	水準器等 (アンカードリル $\phi 9.5\text{mm}$ 六角スパナ17mm)
------	-----------	----------	--

1. 角度、右振り・左振りの仕様を確認して下さい

右振り



※図は本体を下側から見た図です ※左振りは、本図と対象となります

- ※台車の樹脂ローラを破損しない様に、取扱注意願います
- ※ライナーはベース1カ所に対し各1枚づつを標準出荷しております
- これ以上の床面凹凸時には、事前に追加手配をお願いします(追加ライナーは有償となります)

2. Dペダルの取付 (D=ディスタンス) 奥側台車のみに取り付きます



Dペダルを取付し、26～28in車輪時
柱への干渉を防止する部品です

①奥側台数分、Dペダルを取付します
(前輪台車は共通です)



六角穴付ボタンボルトM8x15
フランジ付ナットM8



完全に固定して下さい

※前後差の無い45度振りは、取付不要です

3. 前輪台車の挿入

②エンドカバーを開け、前輪台車を挿入します



下側に開けます



台車のストッパーを押しながら、
ラックへ挿入します。
スムーズに最後まで入ること！

③エンドカバーを締結します



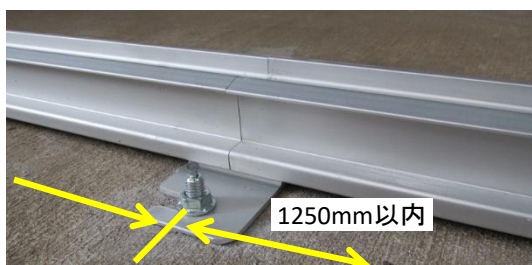
ボルトの角根をしっかりと
入れて、締めて下さい

**※通路側・奥側を間違えない様に！
※台車が途中で引っ掛かる時は、角根ボルトが浮いてないか？確認して下さい**

4. スライドレールの据付

④レイアウトに基づき、レールを据付けます。水準器等でレベルを出し、必要に応じライナーを使用して下さい

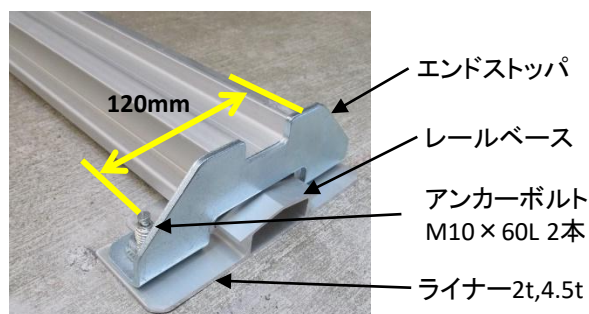
⑤スライドレールの継ぎ目合わせ・段差不可！



1250mm以内

注:レールベースの取付ピッチは、1250以内として下さい

⑥スライドレール用の部品です



エンドストップ

レールベース

アンカーボルト
M10×60L 2本

ライナー2t,4.5t

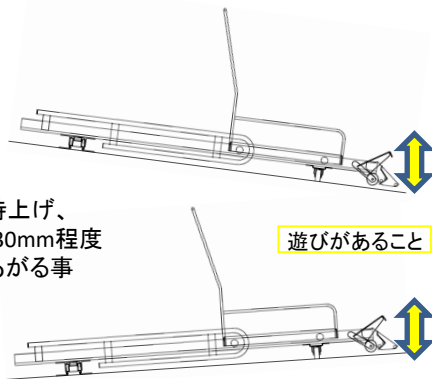
5. 据付検査、製品検査

※レベル調整時の注意

図のように奥行き方向は、床なりで据付けOKです

確認1

ラックレールを持ち上げ、
キャスター部が30mm程度
ガタガタと持ちあがる事



キツイ時は、スライドの左右動作が重いです、
レールをライナー調整し、修繕をお願いします

⑦レールにスライドラックを挿入し、エンドストップを 取付けて完成です



確認2

台車が、スムーズに動くか確認します
特にレール継目に引っ掛かりないか！注意して下さい

確認3 前輪台車のロック



最も通路側の位置でロックされること
押しても動かない！

確認4 フットブレーキの動作



ペダルを押すと
ブレーキに係る事



解除レバーを押すと
軽く動くこと！



解除レバーを押すと
回転しブレーキが持上がる事